

[前画面へ戻る](#)

科目名	哲学概論
科目名(英訳)	Introduction to Philosophy
科目ナンバー	HW129B01
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	三浦 太一
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:HW
他学科受講	
履修順序・履修情報	類似科目情報あり
担当者及び時間割	【春学期】 三浦 太一:月3-4
カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	本科目は「関連科目」に区分される。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:○ ③:○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	課題設定力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	倫理学と心の哲学という、私たちが日々を生活する上で欠かせない知見を与える、哲学の中の二分野を学修します。人間として生きる上で、なすべきこと理解すべきことは何なのか？高度な人工知能の実用化を目前として、わたしたち人間の心は、そのような知能と区別することができるのか？この二点を柱にして、比較的近年に出版された倫理学と心の哲学の入門書を用いながら思考を錬磨します。																								
具体的 達成目標	1. 日常に現れる様々な謎、さらには、人類全体にとって深刻となる問題を、自ら発見する能力を培う。2. 関連する問題を冷静に考察し、他者と共有するための、客観的、論理的な説明能力を獲得する。																								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>【内容】 第1回 哲学の射程を概観する:倫理学と心の哲学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 事前:シラバスを熟読し、自分が興味のあるテーマを見つけておく。事後:倫理学と心の哲学の射程についてまとめる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【内容】 第2回 倫理学の役割</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:倫理学理論の種類を確認する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【内容】 第3回 法と権利</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:倫理における法律の役割をまとめておく。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【内容】 第4回 功利主義</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:功利主義の理論としての特徴と問題点をまとめる。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【内容】 第5回 義務論</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:義務論の理論としての特徴と問題点をまとめる。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>【内容】 第6回 徳倫理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:徳倫理の理論としての特徴と問題点をまとめる。</td> </tr> </table>	1	【内容】 第1回 哲学の射程を概観する:倫理学と心の哲学		【授業外学習】 事前:シラバスを熟読し、自分が興味のあるテーマを見つけておく。事後:倫理学と心の哲学の射程についてまとめる。	2	【内容】 第2回 倫理学の役割		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:倫理学理論の種類を確認する。	3	【内容】 第3回 法と権利		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:倫理における法律の役割をまとめておく。	4	【内容】 第4回 功利主義		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:功利主義の理論としての特徴と問題点をまとめる。	5	【内容】 第5回 義務論		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:義務論の理論としての特徴と問題点をまとめる。	6	【内容】 第6回 徳倫理		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:徳倫理の理論としての特徴と問題点をまとめる。
1	【内容】 第1回 哲学の射程を概観する:倫理学と心の哲学																								
	【授業外学習】 事前:シラバスを熟読し、自分が興味のあるテーマを見つけておく。事後:倫理学と心の哲学の射程についてまとめる。																								
2	【内容】 第2回 倫理学の役割																								
	【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:倫理学理論の種類を確認する。																								
3	【内容】 第3回 法と権利																								
	【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:倫理における法律の役割をまとめておく。																								
4	【内容】 第4回 功利主義																								
	【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:功利主義の理論としての特徴と問題点をまとめる。																								
5	【内容】 第5回 義務論																								
	【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:義務論の理論としての特徴と問題点をまとめる。																								
6	【内容】 第6回 徳倫理																								
	【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:徳倫理の理論としての特徴と問題点をまとめる。																								

④ 授業計画	7	【内容】 第7回「心の哲学」が提示する問題:ロボットに心はあるか?				
		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:人間とロボットに想定できるそれぞれの特徴をまとめる。				
	8	【内容】 第8回 心の因果性:心と身体はどのような関係を持っているのか?				
		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:心身物的一元論と二元論の違いをまとめておく。				
	9	【内容】 第9回 ロボットが「考えている」と判定することはできるのか?チューリングテストの意味				
		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:チューリングテストの内容を簡単にまとめておく。				
	10	【内容】 第10回 知能はどのように対象を絞りこむことができるのか?フレーム問題				
		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:「フレーム問題」の意義をまとめる。				
	11	【内容】 第11回「意識」は心の本質なのだろうか?:クオリア問題				
		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:授業で解説する「クオリア」の意味をまとめる。				
	12	【内容】 第12回 理性と非理性:人間の推論はどの程度「理性的」なのだろうか?				
		【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:人間が行う認識、推論の特徴をまとめる。				
	13	【内容】 第13回 レポートの書き方と実践				
		【授業外学習】 事前:コースパワー第一週目の期末レポート説明を読んでおく。事後:授業で提示したレポートの書き方とルールを確認する。				
	14	【内容】 第14回 倫理学復習				
	【授業外学習】 事前:倫理学に関する今までの授業内容を復習し、分からなかったことを見つけておく。事後:倫理学に関連した内容の内、レポートで書きたいテーマを見つける。					
15	【内容】 第15回 心の哲学復習					
	【授業外学習】 事前:心の哲学に関する今までの授業内容を復習し、分からなかったことを見つけておく。事後:心の哲学に関連した内容の内、レポートで書きたいテーマを見つける。					
④ 授業方法	スライドを用いて講義を行う。時間の最後にコメントを記入をしてもらう。講義の中で、コメントに対する答を提示する。期限内に提出された期末レポートには、コースパワーで応答を提示する。					
④ 成績の評価方法	期末レポートで評価する。コメントの内容と提出数を成績評価に含める。以下に示すような受講上の問題が発見された場合、成績評価の対象としないものとする。著しく欠席が多い、コメント提出数が非常に少ない、私語などによって授業または他の参加者への妨害がある、授業中に授業とは関係のない課題作成やスマートフォン、PCの使用がされている、出席登録に関連した不正行為がなされている、等。					
④ 成績の評価基準	期末レポートでは、授業で扱ったテーマについて自分の言葉で要約し、かつ、自分自身の考察と比較することが求められる。丸写しや剽窃を行ったことが明らかな場合は、評価対象としない。テキストや二次文献の引用を行う場合は出典を明示すること。60点以上が合格となる。内容の把握が正確で、自分の見解も明確に示しているレポートは70点以上の評価となる。さらに、見解にオリジナリティがある場合は80点以上、内容把握、見解の質、さらに文章表現の全てが優れている場合は90点以上となる。					
④ 教科書						
④ 参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『入門・倫理学』	赤林朗・児玉聡	勁草書房		978-4-326-10265-5
	2.	『ロボットの心』	柴田正良	講談社		4-06-149582-8
	3.	『心の哲学入門』	金杉武司	勁草書房		978-4-326-15392-3
④ 備考	参加者の関心に応じて、進行具合を変更する場合がある。					
④ 関連ホームページ						
④ メールアドレス	三浦 太一 sh12564@fsc.chubu.ac.jp					
④ オフィスアワー						